

やまがた認知症カフェ通信 2025 9月号

令和7年9月 12日発行 発行元／山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ

9月は認知症月間(世界アルツハイマー月間)です

1994年「国際アルツハイマー病協会」(ADI)は、世界保健機関(WHO)と共同で、毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定し、この日を中心に認知症の啓蒙を実施しています。また、国民の間に広く認知症についての関心と理解を深めるため、令和6年1月1日施行の「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」において、毎年9月21日を「認知症の日」、9月を「認知症月間」と定めています。

9月中、県内では様々な催しが予定されています。県では、「新しい認知症観」や認知症に対する正しい知識を学び、認知症の人に関する理解を深める「やまがた認知症シンポジウム2025」を9月23日(火・祝)に開催します。基調講演やパネルディスカッションのほか、映画「オレンジ・ランプ」の特別上映を実施するなど、認知症について学び、考える一日です。山形県立図書館では、認知症に関する企画展示を実施中で、また県内各地で、文翔館などの建築物を認知症の普及啓発のシンボルカラーであるオレンジ色に彩る、「オレンジライトアップ」が行われています。各市町村でも、認知症をテーマにした講演会や、認知症の人やそのご家族の応援者である認知症サポーターの養成講座を実施するなど、様々な取り組みが行われています。

認知症は誰もがなりうるものです。「他人事」ではなく「わがこと」として考え、認知症があってもなくても、同じ社会の一員として暮らしていくことができる社会の実現に向け、認知症への理解を深めていきましょう。

(山形県高齢者支援課)



(特設サイト)

さくらんぼカフェより

さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！

認知症カフェ運営者等情報交換会 順次開催中

今年も県内4地区ごとの情報交換会を予定しており、すでに7月24日に庄内地区、8月28日に最上地区にて開催しています。今年はグループワークを主とし、できるだけ運営者同士の交流と情報交換ができるようにしています。そのような中、庄内地区にて18名、最上地区は9名の参加で①市町村計画において当事者(カフェ利用者)が望む施策とは②認知症カフェ運営上の課題に対する行政支援について意見交換しました。

以下の意見や要望がありました。抜粋ですが報告します。

①について

- ・参加しやすいこと(誰でも話しやすい、自力で通える、参加者も担当者も楽しんでいる等)
- ・身近なところで、地域に根付いている場所にカフェやサロンなどができれば
- ・当事者の気持ちや自尊心を大切に、できることを奪わないよう
- ・悩みや不安が語れる、相談しやすい事

②について

- ・補助金のような継続した開催が可能となるような支援
- ・交通手段の支援(福祉バスの活用、運転免許返納時にカフェ利用のチケットも配布してもらえれば)
- ・スタッフ、ボランティアの育成(バーンアウトしないために)



以上のように、とても大切なことが語られています。9月号が届く頃には村山地区も開催され、多くの意見が出ると思います。多様な方が暮らしやすい地域づくりに向けて継続することの大切さを確認した情報交換会となっています。

在宅を支える家族の会の活動をご紹介します

1. 認知症カフェの紹介

在宅を支える家族の会は、毎月「おしゃべりカフェ集い」を開催しています。認知症や障がいのある人などを介護している人を対象に、相互交流を通じて理解を深めることなどを目的として、北村山地域を中心に活動しています。

2. 8月のつどいはリフレッシュ研修！

朝 10 時、村山市役所集合で市の福祉バスでじゅんさい沼、ホースガーデンむらやま、テラリスに行き、リフレッシュしてきました。

村山市の北部にあるじゅんさい沼では、6 月上旬から 8 月上旬にかけて箱舟を操りながらの天然じゅんさいの摘み取り風景が初夏の風物詩となっています。この日は、残念ながら雨もあり箱舟は見られませんでした。

昼食は、尾花沢市の大南軒にて、様々なメニューを頼んでみんなでおいしくいただきました。

午後からは、ホースガーデンむらやま、テラリスにお邪魔しました。癒しの乗馬や餌やり体験ができ、専門のインストラクターが指導してくれます。初めて乗馬する方は、終始笑顔で楽しんでいました。

テラリスでは、カラオケや卓球、歓談、お菓子や飲み物でリフレッシュさせていただきました。ソプラノ歌手（村山市出身）の娘さんの生の歌声に癒やされ、指導も貴重な体験となりました。

今回 16 名が参加され、参加者から楽しかった、外出することは良いこと等、様々ご感想をいただきました。



在宅を支える家族の会（工藤・池野）

インフォメーション

ホットな話題をお届けします！

～RUN 伴山形 2025 イベント案内～

RUN 伴は全国すべてのまちが、認知症になっても安心して暮らせる地域になることを目指して、認知症の人と一緒にいるタスキリレーです。

RUN 伴をきっかけに、認知症の人や家族が力をもらえるきっかけになったり、地域の人と出会う一歩につながったり、これまで関心のなかった人が何かを気づくきっかけになったり、その出会いから近所で顔見知りの関係ができて安心して外出できるような、まちの在り方が変化していくことをゴールにしています。

〈コース紹介〉

庄内コース	9 月 14 日（日）
最上～村山コース	9 月 20 日（土）
村山～置賜コース	9 月 21 日（日）



今年から RUN 伴は RUN 伴山形にリニューアル、各都道府県ごとの活動に大きく舵を切ることとなりました。

地元山形で共に認知症や障がいについて考え、走り、タスキをつないでいきましょう！

〈RUN 伴ホームページ〉

<https://peatix.com/event/4425577>

発行元：山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ 山形県認知症コールセンター（山形市 県小白川庁舎内）
 電話・来所相談・カフェオープン 月曜～金曜日 昼 12 時～午後 4 時
 TEL 023-687-0387 FAX 023-687-0397 E-mail kazokunokai@camel.plala.or.jp
 皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。